

第4回
農業・農村・
地域活性化セミナー

■ 新しい農業システムのひとつ ■

CSA Community Supported Agriculture を考える

地域で支える農業

2015年8月28日(金)

19:00 ~ 21:00 (18:30開場)

慶應義塾大学日吉キャンパス協生館3F・CDF教室

入場無料

定員100人 ※応募者多数の場合、
抽選とさせていただきます。

配布資料:農都共生ラボ報告書など



CSA (Community Supported Agriculture) とは、1980年代にアメリカで誕生した農業の仕組み。地域住民などの消費者が会員となって農作物の収穫前に代金を先払いして農場経営のリスクを分担したり、地域で生じている課題の解決を農家が取り組むなどの特徴を多数持つ。一方、日本で実践している農場はまだ少数。果たしてCSAは日本の農業を改革する切り札となりえるのか!?

第1部 講演



古くて新しい農業システム「CSA」の仕組みと展望

村瀬博昭氏

新潟薬科大学 応用生命科学部
生命産業創造学科 准教授

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科博士課程修了。アーサー・アンダーセン、NTTデータ経営研究所を経て現職。農業、食、コミュニティなどを通じた地域活性化の教育・研究や活動支援に携わる。

ケンタッキー大学農業経済学部客員研究員としてアメリカと日本のCSA研究に従事。論文「CSAによる地域活性化に関する研究—メノビレッジ長沼のCSAの取組を事例として」、博士論文「地域活性化に資するCSAのモデル化」他、CSAに関する執筆・講演多数。博士(学術)。

第2部 講演



CSAに取り組んで

片柳義春氏

農業生産法人なないろ畑株式会社
代表取締役

事業会社経営、NPO運営などを経て現職。日本では珍しいCSA方式で農業を支え、有機栽培をベースに社会全体をエコロジー型社会に変える取組を実践。慶応大学出身。17歳で慶応高校時代から日吉キャンパスの裏山に畑をつくり、1980年にはエコロジー研究会を学内に創設。

趣旨説明・鼎談



林美香子氏

慶應義塾大学大学院システムデザイン
・マネジメント研究科特任教授

北海道大学農学部卒業後、札幌テレビ放送株式会社にアナウンサーとして入社。退社後、キャスターに。「農村と都市の共生による地域再生」の研究で北海道大学大学院にて、博士(工学)を取得。北海道大学大学院農学研究科客員教授。北洋銀行社外取締役。著書に「農業・農村で幸せになろうよ」(安曇出版)など多数。札幌在住。

タイムスケジュール

- 18:30 開場
- 19:00 開会挨拶/前野隆司氏
(SDM研究科委員長)
- 19:05 趣旨説明/林美香子氏
- 19:10 第1部講演/村瀬博昭氏
- 20:10 第2部講演/片柳義春氏
- 20:30 質疑応答・鼎談
- 21:00 閉会

※閉会后、希望者の方による懇親会を予定しています(協生館1F他・会費制)

会場アクセス



日吉駅=東急東横線・目黒線
/横浜市営地下鉄グリーン
ライン、徒歩1分

主催:慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属システムデザイン・マネジメント研究所地域活性化ラボ/農都共生ラボ/慶應SDM・小布施ソーシャルデザインセンター

協力:農都共生研究会/松田綜合法律事務所/安曇出版
後援:地域活性化学会

◎お申込みは、下記のサイトまで

<http://www.sdm.keio.ac.jp/2015/08/28-120928.html>